

公財全高農 農場協会新聞

第4号

発行所
公益財団法人
全国学校農場協会
東京都渋谷区
円山町2-20

生徒の出番だ！ 先生も頑張るぞ！

特集号

”生徒の出番だ“
第13回エッセイコンテスト
第7回フォトコンテスト
第5回和牛甲子園

第13回全国農業関係高等学校エッセイコンテスト

第13回エッセイコンテスト審査会が令和3年12月8日 審査員・公益財団法人全国学校農場協会理事長日置司明・全国高等学校農場協会会長荻塚光信・日本文学学会会長間山三郎・全国高等学校農場協会事務局長須賀秀次の厳正なる審査の結果、エッセイコンテストの入賞者が決定いたしました。

・応募総数 10編

・表彰 最優秀賞 1編・優秀賞2編、佳作3編が決定いたしました。

◎最優秀賞

『牛とともに歩む』

愛媛県立野村高等学校

2年 入船 朔空

○優秀賞

『祖父からの依頼、父からの継承、私が繋いだ活動』

（親子3世代で繋いだ農業と環境改善プロジェクト）
長崎県立諫早農業高等学校
3年 石丸 陽翔
○優秀賞
『「地域活性」のための私達のとり組み』
長崎県立諫早農業高等学校
3年 渡邊 梓月
・佳作
『「いのち」を活かす』
長野県下伊那農業高等学校
3年 三石 茉央
・佳作
『理論と実践を伴った農業技術者を目指して』
大阪府立園芸高等学校
2年 松口 歩佳
・佳作
『自分の気持ちで全てが決まる』
山口県立萩高等学校奈古分校
2年 草野 玖実

第13回全国農業関係高等学校エッセイコンテスト 講評

「出会いを感じる」

日本農林文学会会長

間山 三郎

現在の若者達がどんな考え持っているのだろうか、

若い人たちの考えに触れるエッセイコンテスト、その審査に立ち会える喜びを感じている。
今年度は最優秀賞一編、優秀賞二編と佳作三編となった。
最優秀賞は入船朔空さんの『牛とともに歩む』が選ばれた。小学3年生の時に、乳牛の共進会で牛を引いた経験が、その時の感動が家畜審査競技大会への出場へとつながっている。酪農の現状は、多頭飼育による購入飼料依存型の方向へ進もうとしているようであるが、個人的には日本は家族経営による自給飼料生産型が適していると思っている。共進会の緊張感とジャッジマンに指名される瞬間の感動は、私も忘れられない一人です。あなたの進もうとしている、酪農の可能性を信じ、応援していきます。

優秀賞の石丸陽翔さんは、『祖父からの依頼、父からの継承、私が繋いだ活動』石丸さんは昨年『対馬のために今できること』というテーマで佳作に入選している。そして所属している長崎県立諫早農業高等学校は、昨年度『放置竹林解決』で最優秀賞を受賞している。今回は竹パウダーを馬鈴薯栽培に利用して、雑草の抑制、ソウカ病にも効果があることを実験で示し、その効果を地域の農家の方が利用し収益を上げている。それは、親子3世代で繋いだといった信頼から生まれたものだと言える。
もう一つの優秀賞は、渡邊梓月さんの『「地域活性」のための私達のとり組み』と同じく諫早農業高等学校の生徒さんが受賞した。地域の特産品であるミニトマトを利用した新商品の開発とミニトマトから出る廃棄物の脇芽を利用して抗菌効果があることを実験で証明し、イチゴの保存に利用できる可能性を示唆した。非常に実践的で、収益につながる話である。
地域の農業の生産で問題になっていることを、長期的展望を持ち、解決しマイナスをプラスに変化させていく。この形を作り上げる

には、指導にあたられる先生方の並々ならぬご尽力が必要で、地域農家の人々に信頼されるまでには半端でない時間も必要とされたことだと推測されます。

農業高校の将来は、進むべき道は、若い生徒さんの無限の可能性をいかに引き出してあげるにかかっているように思います。科学には基礎的な研究が必要だと言われる方もおられるが、応用していくうちに基礎的な重要な発見にたどり着くことは、珍しい事ではないと思います。

第5回 農業関係高等学校 農業農村フォトコンテスト

第7回フォトコンテスト審査会が行われ、入賞者が決定いたしました。

審査員 公益財団法人全国学校農場協合理事長 日置司明・全国高等学校農場協会会長 菲塚光信

棚田学会会長 山路永司
写真家・棚田学会
安井一臣

〔生徒の部〕

◎最優秀賞

該当無し

○優秀賞

『自分から見た見た棚田の景色』
宮城県伊具高等学校

菅原 大輝



○優秀賞

『じいじには、負けない』
静岡県立田方農業高等学校

成川 翔



・佳作

『麦秋の風に』

埼玉県立熊谷農業高等学校

篠田 渉

・佳作

『鳥たちの刻(とりのたちとき)』

埼玉県立熊谷農業高等学校

桑原 宝

・佳作

『日課』

静岡県立田方農業高等学校

神田 彩羽

〔職員部の部〕

最優秀賞

『田舞台』

静岡県立田方農業高等学校

佐藤 明彦



○優秀賞

『学びの場』

宮城県伊具高等学校

池田 友利

○優秀賞

『あっちいったよ！』

福島県立岩瀬農業高等学校

齋藤 勇樹

第5回 和牛甲子園

祝優勝 愛知県立

渥美農業高等学校

令和4年1月21日に、東京都港区(品川グランドホール)および東京食肉市場にて20県35校、和牛50頭にて、開催されました。

審査方法

体験発表会での発表内容を競う取組評価部門の得点(50点満点)と、出品牛の肉質審査で競う枝肉評価部門の得点(50点満点)との合計点数(100点満点)により最優秀賞1校を決定しました。

総合評価部門 最優秀賞

【初優勝】愛知県立
渥美農業高等学校

取組評価部門 最優秀賞

広島県立西条農業高等学校

優秀賞 2校

愛知県立渥美農業高等学校

鹿児島県立市来農芸高等学校

優良賞 3校

鹿児島県立鹿屋農業高等学校

鹿児島県立鶴翔高等学校

福島県立会津農林高等学校

審査員特別賞

岡山県立瀬戸南高等学校

高校牛児特別賞

宮城県農業高等学校

枝肉評価部門 最優秀賞

鹿児島県立曾於高等学校

優秀賞 2校

岐阜県立大垣養老高等学校

愛知県立渥美農業高等学校



優良賞 3校

栃木県立栃木農業高等学校
栃木県立那須拓陽高等学校
鹿児島県立鹿屋農業高等学校

審査委員特別賞

栃木県立宇都宮白楊高等学校

先生も頑張るぞ

特集号

- ・ 全国大会
- ・ 支部大会
- ・ 農業実験実習講習会
- ・ 免許法認定講習会

全国高等学校農場協会
 結成70周年記念式典・
 令和4年度全国高等学校
 農場協会
 第71回全国大会並びに
 研究協議会

6月2日(木)～6月3日(金)
 星稜会館
 (千代田区永田町予定)

令和4年度

全国高等学校農場協会

支部大会 《実施計画》

〔期日・会場・事務局校〕

第26回 北海道支部大会

7月28日(木)～7月29日(金)
 新ひだか町公民館
 北海道静内農業高等学校

第20回 東北支部大会

8月9日(火)～8月10日(水)
 ANAグランドホテル秋田
 秋田県立大曲農業高等学校

第71回 関東支部大会

8月23日(火)～8月24日(水)
 華やぎの章 慶山
 山梨県立農林高等学校

第46回 北信越支部大会

8月4日(木)～8月5日(金)
 万代シルバーホテル
 新潟県立長岡農業高等学校

第23回 近東支部大会

7月28日(木)～7月29日(金)
 SRAHAMA KEY
 TERRACE HOTEL
 SEAMORE (ホテルシーモア)
 和歌山県立南部高等学校

第69回 中国支部大会

8月18日(火)～8月19日(水)
 ホテルセンチュリー21広島
 広島県立西条農業高等学校

第53回 四国支部大会

8月16日(火)～8月17日(水)
 ザ・グランドパレス徳島
 徳島県立城西高等学校神山校

第68回 九州支部大会

8月24日(水)～8月25日(木)
 グランデはがくれ
 佐賀県立佐賀農業高等学校

令和4年度第66回

農業実験実習講習会
 受付
 4月1日(木)～6月1日(火)
 《実施計画》
 〔科目・会場・期日・事務局校〕

北海道地区

「農業と環境」
 帯広畜産大学
 8月1日(月)～8月5日(金)

北海道帯広農業高等学校
 内容「日本農業の課題・農業機械のスマート化・ロボットトラクタ等視察他」

東北地区

「農業と環境」
 岩手大学 農学部
 7月25日(月)～7月29日(金)

岩手県立盛岡農業高等学校

「気候変動下での作物の安定生産を通じた社会への貢献他」

関東地区

「農業と環境」
 日本獣医生命科学大学
 8月1日(月)～8月5日(金)

東京都立瑞穂農芸高等学校
 「生命科学」の観点から見た農業分野に関する講義・実験実習他」

北信越地区

「農業と環境」
 富山県立大学
 8月8日(月)～8月12日(金)

富山県立小矢部園芸高等学校
 「植物DNAの抽出と手動PCRの実際他」

近東地区

「農業と環境」
 三重大学
 8月15日(月)～8月19日(金)

三重県立久居農林高等学校
 「野菜の窒素栄養に対する反応と品質成分他」

四国地区

「農業と環境」
 香川大学農学部

8月15日(月)～8月19日(金)
 香川県立笠田高等学校
 「農業と水環境、香川で育つ希少糖他」

九州地区

* 農業技術研修会
 「農業と環境」

東海大学熊本キャンパス
 8月22日(月)～8月24日(水)
 熊本県立熊本農業高等学校
 「人工知能とソフトコンピューティング・実習他」

農業教育推進に向けた諸課題の改善要望 令和3年度要望事項

《重点要望事項》

- 1 「農業教育の質的向上に必要な条件整備」の要望
- 先進農家・農業法人や農業関連企業および大学・研究機関等での教員の継続的な研修の推進
- 農業科教員の海外研修の機会の拡充
- 優れた知識・技術を有する教職員の確保に向けた対策

《継続重点要望事項》

II 「時代の進展に対応した農業教育施設・設備の整備のための予算措置」の要望

○時代の進展に対応した施設・設備への速やかな更新

○国際競争力を高めるために国内外で必要とする認証取得を実現するための経費の補助

○地域創生を目指すために必要とする先進技術の充実ならびに特色化を実現するための施設・設備の導入に係る予算措置

《継続要望事項》

III 「農業を学ぶ高校生への先進的農業教育推進」の要望

○農業・農業関連産業の従事者・経営者等の活用に向けた予算面での支援の充実

○高校生の海外派遣研修への機会と予算面での支援の拡充

○農業及び農業教育の理解・啓発を推進するための予算面での支援の充実

IV 「農業教職員の確保・充実と待遇の改善」の要望

○産業界手当の継続的な支給

○特殊性の高い職務であることに配慮した特別手当の支給

○施設・設備及び学校農場の規模等を踏まえた農業教職員の確保と充実

免許法（実習助手単位）認定講習の開催

本年度の免許法認定講習は、北海道の酪農学園大学と東京農業大学を開講大学として実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為に中止とする予定です。ご理解の程お願いいたします。

事務局より

農場協会結成70周年記念式典・第71回全国大会並びに研究協議会の開催はハイブリッド開催（会場参加型・リモート参加型のいずれかによる出席）で対応をお願いいたします。

現在の新型コロナウイルス感染症の拡大防止の対策に万全を期すとともに次の

ご対応をお願いします。①大会会場内の密を避けるために昨年同様に一般会員のご出席はご遠慮頂きますようご理解・ご協力をお願い申し上げます。

②代議員の出席について総会の進行を円滑に図るため、昨年同様に書面による議決を事前にお願ひ申し上げます。代議員の出席報告を受け次第、総会資料・議決権行使書をお送りいたします。4月8日までに出席申し込み書をご提出ください。

③大会資料費は会場参加者は四〇〇〇円、リモート参加者は二〇〇〇円となります。出席申し込み書は4月8日までに提出、資料代納入・出席の変更は4月26日までにご提出ください。

④記念祝賀会は会場内のコロナ対策に万全を期して、着座方式・飲物の提供不可も検討の上準備中です。

⑤出席者全員必ずマスクの着用をお願いします。

農場協会会館の既設の自動火災報知機設備機器の更新（18年経過の為）が防災安全上求められ工事を予定。



人類が直面する問題に答える。それが実学。

温暖化、資源枯渇、食料危機、絶滅危惧種の増加など研究対象は農学を起点に、あなたが想像する以上に広がりを見せています。

このような問題に答えていく学びや研究を在学中に体験することを実学と呼んでいます。

人類が直面する問題に答えていく人材を世の中にも選んでいくことが東京農大の普遍的な使命なのです。



東京農業大学 TOKYO UNIVERSITY OF AGRICULTURE 〒115-8502 東京都目黒区板橋1-1-1 http://www.nnod.ac.jp

農学部

応用生物科学部

生命科学部

地域環境科学部 国際食料情報学部

生物産業学部

「食」「環境」「人」の分野のプロフェッショナルを育成します

環境園芸学部 環境園芸学科 人間発達学部 子ども教育学科

健康栄養学部 管理栄養学科 食品開発科学科



南九州大学 検索

郡城キャンパス：〒885-0035 宮崎県都城市立野町37-64番地 宮崎キャンパス：〒880-0032 宮崎県宮崎市藤島5丁目1-2

お問い合わせ【企画広報課（宮崎キャンパス）】

0120-3739-20 http://www.nankyudai.ac.jp

乳加工機器 クリームセパレーター・バターチャン



株式会社三研 03-6450-0327

